



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 22 年 10 月 20 日(水)～11 月 6 日(土)
ウッドチップ歩道の施工 編

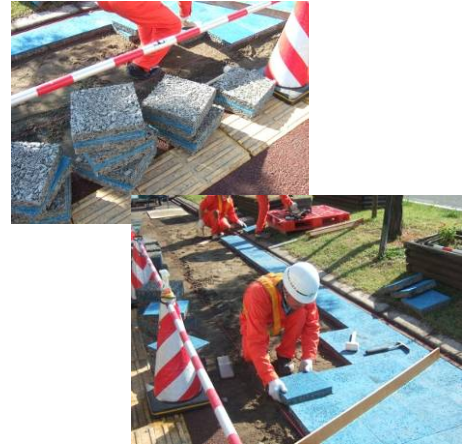
いよいよウッドチップ歩道の工事開始です。不安と期待が入り交じる中、前例のない一般道のチップ舗装の試験施工が行われました。工事は、国道 7 号の維持管理を請け負っている塚本商会さんが行いましたが、木質平板ブロックには三種町の大信太工業さんの開発した製品を、ウッドチップ舗装にはネットワークでもお世話になっているウッディさんないさんの製品が使われました。

既設のアスファルト舗装を撤去し、路盤の調整をした後、10 月 20 日から自転車走行帯の木質平板ブロックの敷設が行われました。この平板は、建設廃材の破砕チップをセメントで固めたもので、透水性もあり、ウッドチップ舗装よりも強度があります。着色も可能なので、市内の自転車走行帯の青色に合わせて表層部分を着色して製作されています。多少色合いが違いますが、自転車で通っても気づかないかもしれません。

自転車走行帯が完成したら、次に歩行部の工事です。アスファルト舗装撤去、路盤調整の後、市販の視覚障害者用誘導ブロックを敷設し、11 月 6 日にウッドチップ舗装工事が行われました。風の松原でおなじみのウッドチップ舗装ですが、これまで一般道の歩道での施工経験がありませんので、耐久性や強度を向上させるための工夫が施されていました。約 50m の区間の舗装は 1 日で完了しました。

完成した歩道は満足のいく出来で、実際に歩いてみるとその良さが体感できます。実験では、施工に際して排出された CO₂ 量を求めてアスファルト舗装と比較する解析や、施工後の耐久性、積雪時の歩行性、除雪時の破損、維持管理方法の検討など、様々なデータの収集や課題の抽出を行います。このようなデータを揃えて、市内の道路へも普及できる技術の提案に取り組んでいきたいと思えます。

文：佐々木 貴信



自転車走行帯の木製平板ブロックの施工。
30×30cm の平板を敷き並べていきます。ブロックは軽量で、作業もスムーズです。



自転車走行帯が完成した後、歩行部のウッドチップ舗装を施工していきます。市販の視覚障害者用誘導ブロックを設置した両脇を舗装。



マンホール周辺も丁寧に仕上げられています。



完成したホテルエイト前の歩道部。自転車や歩いてここを通る市民の反応が気になります。工事中も「これ歩きやすくていいよね、この区間しかやらないの？」という声を聞きました。